

令和元年度 自主防災組織・防災士合同研修会

1 市の施策説明

2 災害発生情報等の取得方法及び避難行動のあり方について

3 事例発表

台風第19号等における消防本部の活動状況

4 講演

テーマ 「地域の防災対策を考える」

講師 福島工業高等専門学校 客員教授 霜田 宜久 様

令和元年度 自主防災組織・防災士合同研修会



いわき市

総合政策部 危機管理課
令和2年2月8日（土）

1 実績報告書等の提出について

- ▶ 自主防災組織の毎年度の活動を点検し、次年度の取り組みに活かしていただくことを目的としています。
- ▶ 市内には、令和2年1月1日現在で 404の自主防災組織が結成されており、すべての自主防災組織に提出を依頼します。
- ▶ 市では、提出いただいた実績報告書及び年間活動計画書をとりまとめ、自主防災組織の活動の状況を把握し、支援のための検討をする資料として活用していきます。

1 実績報告書等の提出について(提出書類その1)

【規約】

- ▶ 組織の目的、事業内容を明らかにするとともに、役員を選任および任務、会議の開催、防災計画の策定等について定めます。

【防災計画】

- ▶ 津波、水害、がけ崩れなどの地域の実情を考慮するとともに、災害が発生する時間帯で班編成や人員を考慮するなど、日頃、どのような対策を進め、災害時にはどう行動するかなどを定めます。

【編成表】

- ▶ 自主防災組織の会長、副会長、班長を中心とした役割別の活動班を決めます。

1 実績報告書等の提出について(提出書類その2)

【防災資機材一覧表】

- ▶ 防災用の資機材等は定期的に点検し、有事に備えておくことが重要です。

【実績報告書及び年間活動計画書】

- ▶ 自主防災組織の毎年度の活動を点検し、改善していただくことを目的として、年間の実績報告書及び年間活動計画書を作成してください。

1 実績報告書等の提出について

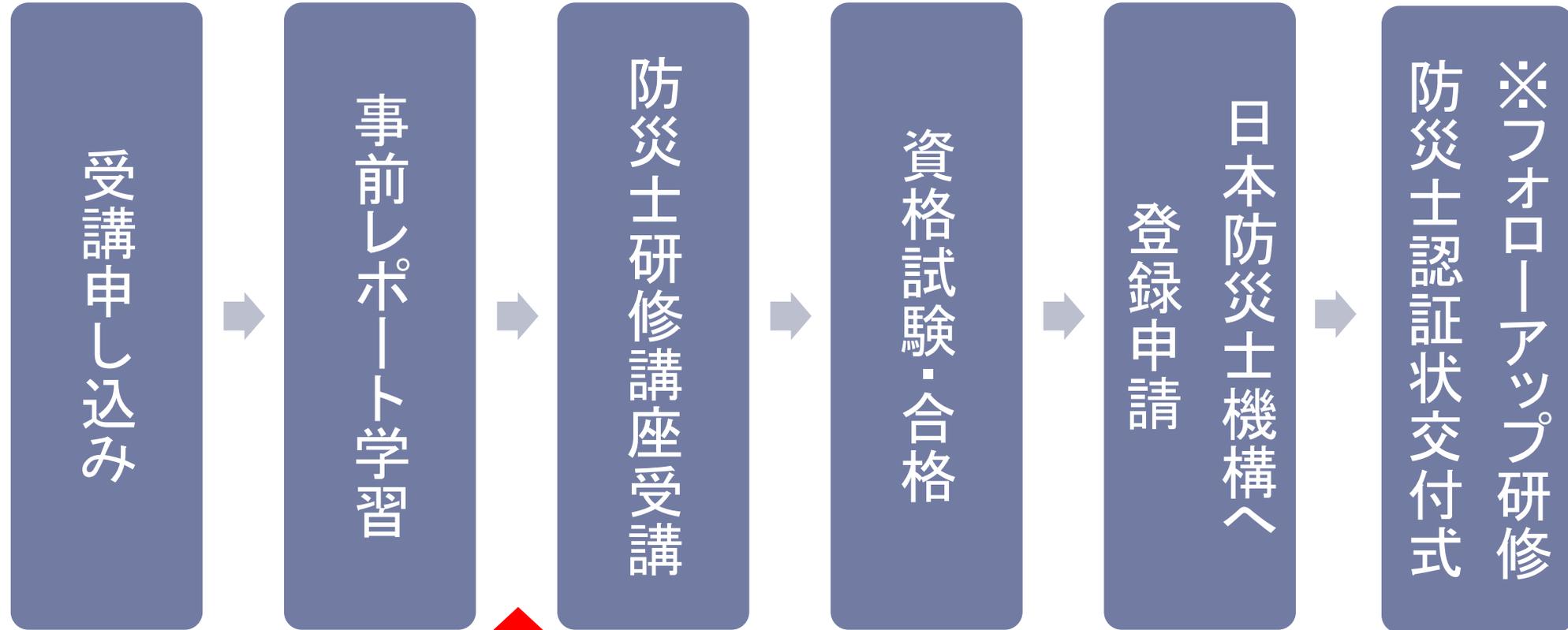
主な取り組み内容	組織数	提出数
地区独自の防災訓練	126組織	243組織
一人暮らし家庭の防火・防災訪問	2組織	
防災資材の点検又は資材補充	77組織	
地区内の危険箇所等の点検	20組織	
電話等を使用した情報伝達訓練又は連絡網の作成	15組織	
市総合防災訓練への参加	38組織	
市防災士養成講座の受講	15組織	
市自主防災組織研修会への参加	90組織	
消防職員による講習 ※救命講習や消火訓練等	104組織	
要支援者の確認	6組織	

※H30年度実績報告書から集計（複数回答）

2 いわき市防災士養成講座について

- ▶ 防災士とは、社会の様々な場で、減災や防災力向上のための活動が期待され、かつ、そのため十分な意識・知識・技能を有するものとして、特定非営利活動法人日本防災士機構が認定した方です。
- ▶ 自主防災組織が無理なく活動を行い、災害時における「共助」の役割を果たすためには、組織の機能強化を図るとともに、地域内で自主的に活動を進めるための次世代リーダーの育成が必要です。
- ▶ 市では、各自主防災組織の構成員及び消防団員を対象に、防災に係る基礎知識や技能を取得とした「防災士」を養成し、**防災訓練等をはじめとする自主的な活動を促進し、地域の防災力を高めることを目的として、毎年度、防災士養成講座を開催し、最終的には全自主防災組織に防災士有資格者を配備することを目標**とします。

2 いわき市防災士養成講座について(防災士になるまで)



普通救急救命講習受講

講座受講までに普通救急救命講習を修了してください。

2 いわき市防災士養成講座について(合格者の推移)

(単位:人)

受講者	H27	H28	H29	H30	R1	合計
自主防災組織	68	38	33	33	23	195
消防団	14	14	13	14	18	73
女性消防クラブ	-	-	-	-	7	7
市職員	8	4	7	6	4	29
合計	90	56	53	53	52	304

※特例者を除く

2 いわき市防災士養成講座について

令和2年度防災士養成講座（予定）

- ▶ 講座日程 令和2年6月6日（土）、7日（日）
- ▶ 対象者 自主防災組織からの推薦者
- ▶ 募集人数 50名
- ▶ 開催場所 いわき市役所本庁舎
- ▶ その他 応募が定員を超えた場合は、抽選となりますが、昨年度までに防災士資格取得者が配備された組織より、新たに申し込みをいただく組織を優先いたします。



3 (仮称)地区防災連絡協議会の設置について

- ▶ 市内の各自主防災組織における情報や活動内容を共有し、地域内で隣接する組織間の連携強化や全市的な防災意識の啓発等に資することを目的に、「(仮称)地区防災連絡協議会」の設置を提案します。

【協議会における事業(案)】

- ・自主防災会及びその他関係団体、関係機関との相互の情報・意見等の交換会の開催に関すること。
- ・防災に関する知識の普及に関すること。
- ・防災訓練の実施に関すること。
- ・自主防災会の組織強化及び未結成地区の結成促進に関すること。

3 (仮称)地区防災連絡協議会の設置について

- ▶ 将来的には、地区防災連絡協議会は支所単位(13地区)で設置するものとし、上位組織として各地区の役員を構成員とする「(仮称)いわき市防災連絡協議会」を設け、各地区の情報共有の場としたい。

※地区防災連絡協議会は、これまでに田人地区、四倉地区をはじめ、川前、三和、久之浜・大久地区で設置されているほか、好間地区及び常磐地区へ当協議会設立の概要を説明しています。

なお、小川地区では地区独自に組織を設置しています。

〔イメージ〕

(市全体)



4 地区防災計画（地区ハザードマップ作成支援等）について

▶ 地区防災計画とは

- ▶ 一定の地区の居住者及び事業者が行う自発的な防災活動等を定める計画であり、地区の歴史や地形、危険箇所の指定状況、災害時の活動などを掲載することにより、この制度を活用して地区の「共助力」を高め、防災意識の向上につなげるものです。

▶ 市のこれまでの取り組み

平成27年度及び28年度の2カ年事業である「地域まちづくり活動支援事業」において、地域コミュニティ内での共助による防災活動を推進するため、「まちあるき」や「地区ハザードマップの作成」などの取り組みを行い、地区防災計画を作成した。

- ▶ 実施地区 * 事業に取り組んだモデル地区：3地区
平城山地区、小名浜玉川地区、内郷高坂地区



「まちあるき」による危険箇所点検のようす
(平城山地区防災まちづくりワークショップ)

4 地区防災計画(地区ハザードマップ作成支援等)について

- ▶ 地区における防災をテーマとしたワークショップの開催や、地区ハザードマップの作成など、防災活動へ関心を示す地区に対する計画策定の促進等を目的に、地区防災計画作成支援を実施している。



図面を囲み近所の状況などについて話合うようす
(平城山地区防災まちづくりワークショップ)

- 地区が行う防災ワークショップの開催支援
- 地区が行うまちあるきの企画や開催の支援
- 地区ハザードマップの作成支援
- 地区防災計画策定に係る相談
- その他防災活動全般に係る相談 など

4 地区防災計画(地区ハザードマップ作成支援等)について

自主防災組織の防災計画

- 組織規約
- 年間活動計画
- 緊急連絡網 など

自主防災組織(行政区・区の役員等)の運営等に関する計画

区の役員会や総会での
了承を受けて決定
* 定期的・毎年度

地区防災計画

- 地区ハザードマップ
- 地域特性・課題の整理
- 地区の災害履歴 など

地区住民を広く巻き込み、具体的な災害時の活動等を定める地区の計画

ワークショップやまちあるきなど、
住民・関係者を交えて作成
* 不定期・随時



4 地区防災計画(地区ハザードマップ作成支援等)について

昨年度及び今年度3地区で実施した「防災まちづくり活動支援事業」の成果を踏まえ、今後、市内各地区へ波及させることを目的に、「**地区防災計画作成マニュアル**」を作成した。(平成28年度末に配布済)

当該マニュアルを参考に、まちづくりの一環として、各地区において計画作成の取り組みを推進する。

特に、「防災士」が配備されている地区については、積極的な取り組みを期待。

手順例	チェックポイント	方法例
I 計画作成のための組織作り【リーダーが主催して進めましょう】		
①体制づくり	<input type="checkbox"/> メンバー表、メンバーの連絡先の確認	※作成体制について参考①参照
②方法等の決定	<input type="checkbox"/> 話し合いの方法等の決定	※話し合いの進め方の例として、ワークショップ方式について参考②参照
II 計画の検討【Iで決めた作成組織で計画を検討しましょう】		
③進め方の決定	<input type="checkbox"/> 取り組みの目的の確認 <input type="checkbox"/> 会合の場所・日時の決定【毎月第〇曜日などとするのがわかりやすい】	※全体の進め方の例について参考③参照
④情報の把握	<input type="checkbox"/> 地区に関する避難所、危険箇所などの情報の入手 <input type="checkbox"/> 地区の地図の入手	※基礎的な情報となる「いわき市防災マップ」について参考④参照
⑤課題の検討	<input type="checkbox"/> 地図上で、災害が起こった場所や危険な箇所、避難所などの状況の確認	※地図による課題の整理方法について参考⑤参照
⑥まち歩き	<input type="checkbox"/> 防災上の課題について、現地を歩いて確認するなど、実際に目で確認	※まち歩きのイメージ等について参考⑥参照
⑦地区ハザードマップの作成	<input type="checkbox"/> 地区ハザードマップの作成 災害時の危険箇所・事項や、指定避難場所・防災倉庫など防災時に活用できる資源などを地図に書き込みます。	※作成イメージについて参考⑦参照
⑧取組の検討	<input type="checkbox"/> 防災・減災のために取り組む内容・体制表等の作成	※巻末「モデル地区防災計画」を参照ください。
⑨計画案の作成	<input type="checkbox"/> 計画案の作成	
⑩計画案の検証	<input type="checkbox"/> 防災訓練などによる計画内容の検証 <input type="checkbox"/> 計画の見直しなどを行う体制の決定	※防災訓練のプログラム例について参考⑧参照
⑪計画案の公表	<input type="checkbox"/> 地区での計画案の説明会などの開催実施	※自治会での会合などを利用しましょう
III 計画を実行する【作成組織が主催し、計画を実行しましょう】		
⑫市への提案	<input type="checkbox"/> 計画案のいわき市への提案	※手続き等は「3. 計画案の作成・提案手続き等」をご覧ください。
⑬計画の実行	<input type="checkbox"/> 計画に定めた訓練や体制づくりの実行 <input type="checkbox"/> 必要に応じた見直しの実施	※防災訓練のプログラム例について参考⑧参照

5 消防本部からの連絡事項について

自主防災組織 訓練の進め方について

5 消防本部からの連絡事項について

昨年の訓練実施状況

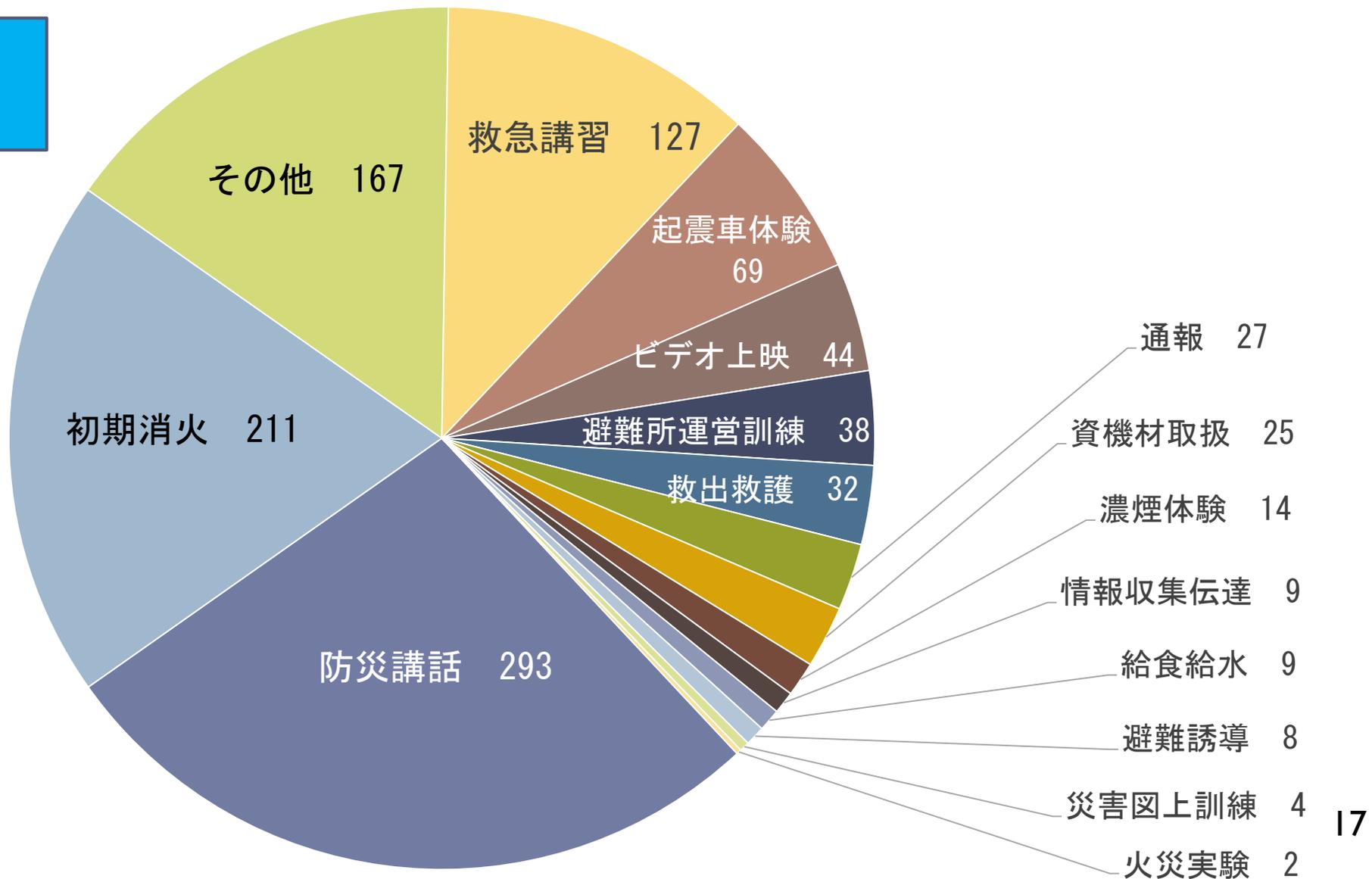
- ▶ 市内406組織のうち訓練を実施した組織は

359組織（88.4％）

※ 組織の代表者を招いて行う「リーダー研修」含む

5 消防本部からの連絡事項について

訓練内容



5 消防本部からの連絡事項について

初期消火訓練



5 消防本部からの連絡事項について

救急知識講習



5 消防本部からの連絡事項について

救出救護訓練



5 消防本部からの連絡事項について

防災資機材取扱訓練



5 消防本部からの連絡事項について

濃煙体験



5 消防本部からの連絡事項について

火災実験



5 消防本部からの連絡事項について

災害図上訓練(DIG) ディグ



5 消防本部からの連絡事項について

訓練Q&A

Q1 消防署に訓練指導をお願いする時に費用はかかるの？

A1 費用は一切かかりませんので遠慮なく最寄りの消防署に要請してください。

Q2 どんな訓練をやればいいのか分からないんだけど・・・

A2 その地区の状況に応じて消防で提案しますので遠慮なくご相談ください。

Q3 土日に訓練を企画しても指導に来てくれるの？

A3 土日、休日問わずお伺いできます。

5 消防本部からの連絡事項について

訓練Q&A

Q4 人数が集まらなくて訓練ができないんだけど・・・

A4 人数が集まらないときは、隣の区と合同で行うことも可能です。

Q5 訓練を行うのに人が集まりやすい時期とかってあるの？

A5 一斉清掃デーの後など、地区のイベントの後に催すと、比較的多くの方が参加されています。

Q6 訓練する場所がないんだけど・・・

A6 最寄りの消防署で訓練をすることも可能です。

5 消防本部からの連絡事項について

訓練企画の進め方

- ▶ 日程、場所等を決め、最寄りの消防署に連絡ください。その日程で重複等がなければOKです。
- ▶ 後日、消防署で訓練の内容等の打ち合わせを行うことをお勧めします。
- ▶ 訓練指導依頼書（任意様式で大丈夫です）を提出してください。
- ▶ **以上で手続きは終了です。**

5 消防本部からの連絡事項について

詳しくは本日お配りした資料をご覧ください。



5 消防本部からの連絡事項について

訓練申込みの流れ

自主防災組織訓練申込みの流れ

まず、訓練の日程、場所を決めましょう。

日 程 ____年__月__日(____) ____時__分 ~ ____時__分
※可能であれば予備日も決めておきましょう。 ____月__日(____)

場 所 _____

※ 訓練時間は一般的に2~3時間程度です。

↓

最寄りの消防署に予約の電話をしましょう。

日程と場所を伝え、消防署からの派遣が可能か確認します。

日程の調整が出来たら、事前打合せの日も決めましょう。

事前打合せ日 ____月__日(____) ____時__分

打合せ場所 _____ 消防署 担当者名 _____

↓

「訓練指導依頼書」を消防署に提出しましょう。

あわせて、訓練の内容等について消防署の担当者と打合せします。

訓練の内容についてはこの時に決めても結構です。

↓

以上で申込みは終了です。

【各消防署連絡先】

平瀬分署 23-9700 小名消防署 92-5171 石見消防署 03-2248 常盤消防署 43-2080
内藤消防署 25-3595 百重台分署 32-5677 中央分署 29-3700 小川分署 33-0405
川南分署 84-2302 江名分署 55-7725 伊人分署 09-2150 瀬野分署 39-2610
三和分署 89-2200

5 消防本部からの連絡事項について

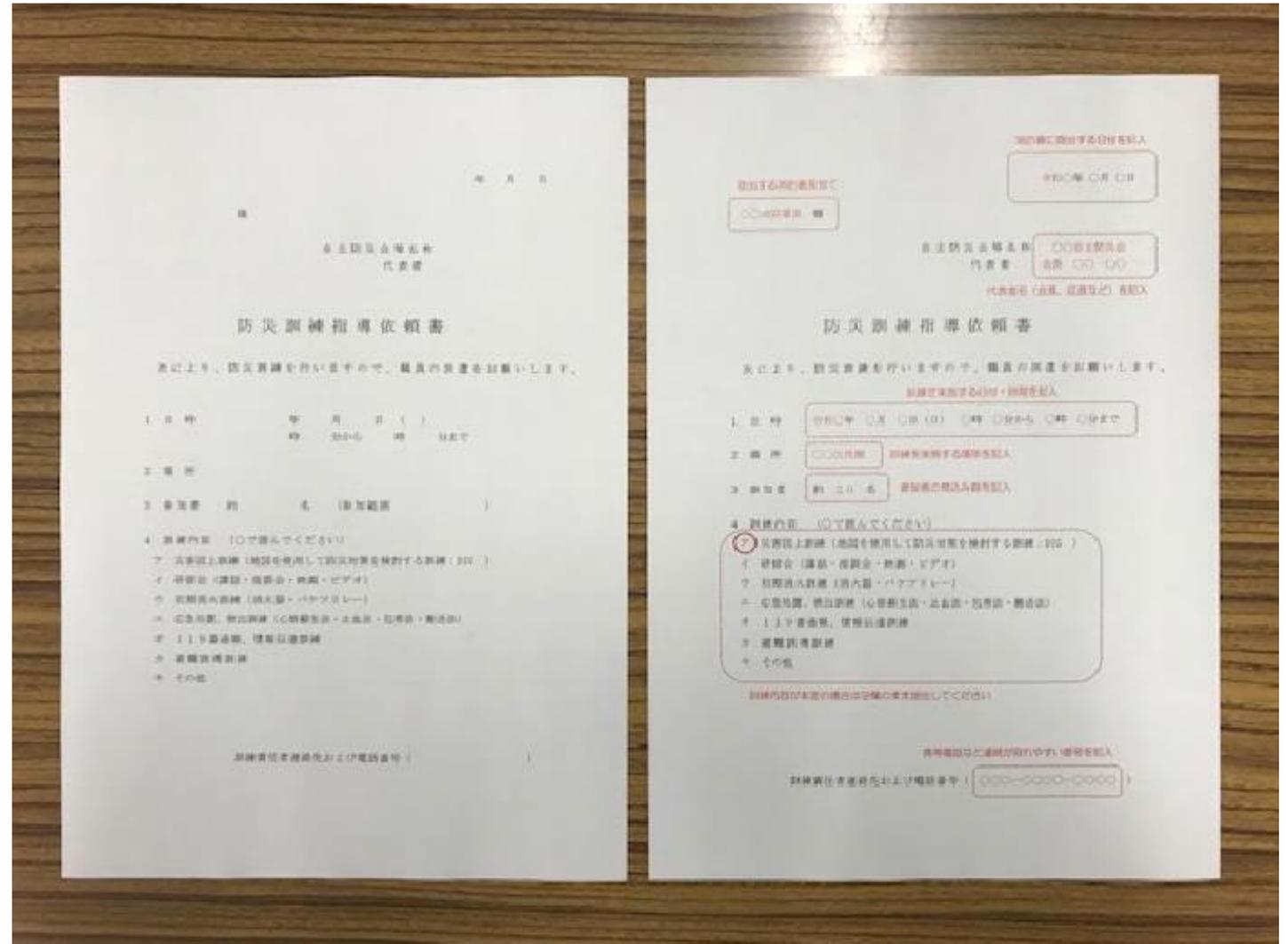
訓練項目

主な自主防災組織訓練項目

初期消火訓練	応急処置訓練	救出訓練
 <p>「水消火器」により、消火器の使用方法を学びます。 粉末消火器を使わず水を使用するため、周囲に粉末が飛散しません。</p>	 <p>心肺蘇生法をはじめ、AEDの取扱い方法、また、怪我や骨折をした際の処置の仕方などを学びます。</p>	 <p>どこの家屋にもある物を使用して、倒壊建物から救助する方法や、応急処置の作成方法などを学びます。</p>
濃煙体験	防災倉庫器材取扱訓練	火災実験
 <p>人体に影響のない薬出用の白煙を生みさせ、濃煙中からの避難を体験できる訓練です。</p>	 <p>防災倉庫にある各種資機材の点検、取扱い方法について学びます。</p>	 <p>天ぷら鍋火災、トラックパンク実験などを再現し、火災の原因について学びます。</p>
119番通報訓練	防災講義	災害向上訓練 (DIG)
 <p>模擬の災害現場の写真を見ながら、119番通報装置を使用し、適切に災害の状況と場所を伝えられるか訓練するものです。</p>	 <p>消防職員が、それぞれの得意に応じた防災に関する講話を行います。</p>	 <p>大きな地図に、自分達の地域や住まいに基む危険性を書き込むことで、地域の弱点を「見える化」する訓練です。 ※ 特に有効な訓練です。</p>

5 消防本部からの連絡事項について

訓練指導依頼書



5 消防本部からの連絡事項について

ご不明な点は最寄りの消防署に
お気軽にお問い合わせください。

【各消防署連絡先】

平 消防署	23-9700	四 倉 分 署	32-5677	田人分遣所	69-2150
小名浜消防署	92-5171	中央台分遣所	29-3700	遠野分遣所	89-2610
勿来消防署	63-2248	小川分遣所	83-0406	三和分遣所	86-2200
常磐消防署	43-2080	川前分遣所	84-2302		
内郷消防署	26-3596	江名分遣所	55-7725		